

# 方法論コミュニケーションテスト作成課題 スピーキング問題編

問題作成ありがとうございます。授業でもお話ししていますが、みなさんは教員養成の勉強をしているのであって教育評論家養成をしているわけではありません。毎週テストを作っているのも、実際に使えるテストを作れるようになるための練習です。

そのために必要なこととして、

○小学校の英語の授業をちゃんとリアルにイメージできること

が第一歩目です。そのためには教科書を見ることや、あとはビデオの会や公開研など授業を見る機会を最大に減に活用すること、さらには小学校コースの友達に話を聞くことなどの努力が必要です。

その上で、

○自分が作ったテストを児童に与えた場合、児童がどんな発話をするのか

○その想定される発話をした場合、自分の評価基準で適切に評価できるのか

を当事者感をもって作成することが必要です。

???と思うものにはコメントした上で 60 点で採点しました。

このままで終わらせず、何かダメかを明確にして、改善して次に進むことをおすすめします。

そんな中、今回の最優秀賞は以下のテストです。

まずは、ちゃんと教科書に基づいていること、そしてその上で、ALT の先生がはなす自分の趣味に応じておすすめ先を変えなくてはいけない=ただ暗記したものを機械的に吐き出すのではないことが求められることが、このテストのポイントです。このテストを作成した人は、学習指導要領で求められている「他者意識」「聞き手意識」をちゃんと理解しているのだらうと思います。ジェスチャーとアイコンタクトをすれば、イコールで「他者意識」「聞き手意識」だと思っている人は、再度「他者意識」「聞き手意識」とは何なのかしっかり確認を！

## 最優秀テスト

Here we go! 6 「Unit6 自分の町の紹介をしよう」を中心に

テストタイプ：生徒と ALT による対話形式

場面・状況：あなたは、アメリカから来た ALT の John 先生と一緒に班で給食を食べることになり、お互いに自己紹介をするところです。John 先生は弘前に来たばかりで、まだ弘前についてはあまり知らないの、ぜひ紹介してほしいそうです。あなたは以下の3つのタスクについて、John 先生と話してみましよう。(あらかじめ児童には弘前の有名な場所についての写真が載ったパンフレットを渡しておき、適宜参照できるようにする。)

- ①あなたの名前と趣味について自己紹介をし、John 先生の趣味について聞くこと。
- ②John 先生の趣味に合った、弘前の有名な施設などの場所について紹介すること。
- ③その場所でできることについて述べること。

評価について：試験官を ALT に委託することで、教師がその場で採点する。予め ALT には、趣味の紹介の時にランダムに弘前の各施設でできるようなこと(jogging, shopping など)を言うようにお願いする。3つのタスクについて、それぞれ教科書の表現(We have [場所] in our town./We can enjoy ~ing in [場所]など)を適切に用いて達成できていれば B、英語の正確さや流暢さに応じて A 評価をつける。たとえ流暢さがあってもタスクがこなせていなければ C とする。B 以上で合格とする。

### 問題 1

クラスみんなに小学校生活での 1 番の思い出を伝えましょう。その際に最低 5 文は話しましょう。(小 6 2 学期)

例 My best memory is our school trip. We went to Aomori. We saw nebuta. We ate apples. It was nice.

全体的採点：ALT

部分的採点：教師

- ・ 文の量 [A・B・C] A～6 文以上。B～5 文。C～5 文未満。
- ・ 文・単語の正確さ [A・B・C] A～5 文以上正解。B～3～4 文正解。C～0～2 文正解。
- ・ 流暢さ [A・B・C] A～止まることなく話している。B～3 秒以上沈黙がある。C～10 秒以上の沈黙がある。

## 問題 2

あなたは、外国の小学生(James)とオンラインで交流をします。今回は初めての交流で、自己紹介の後にそれぞれの住んでいる地域についての紹介をします。James と会話をしながら、自分の住んでいる地域についていくつか紹介してみてください。

### 解答例

James: Where do you live?

Student: I live in Hirosaki City.

James: Oh, good. Please tell me about your city.

Student: Yes. Hirosaki City is a nice city! In Hirosaki City, you can see cherry blossoms in Spring. It's very beautiful!

James: Oh, cherry blossoms? Sounds good. Anything else?

Student: You can eat apple pie in Hirosaki City. It's very delicious and I like it very much!

James: I like apple pie too! I want to go to Hirosaki City. Thank you!

### 評価方法

- ALT が James 役をし、教師がその場で採点をする。
- 以下の観点について、それぞれ 3 段階(3・2・1)で評価し、合計点を出す。(6 点満点)
  - ・ 文法・発音：授業で習ったことを活かして正しくできているか
  - ・ 課題の達成：自分の住んでいる地域について紹介する、James の発言に対応する

### 問題3

あなたの小学校に夏休み明けから転校してきたニュージーランド出身の Judy は、日本語があまりわかりません。ニュージーランドの季節は日本と逆で、彼女は自己紹介でニュージーランドでの冬休みの思い出について紹介してくれました。また、彼女は日本の夏休みについて知りたがっているので、あなたは Judy に自分の日本の夏休みの思い出を教えようとしています。あなたは Judy にどのような思い出を話しますか。英語で話しましょう。

#### ・話すときに気をつけること

- (1) はじめとおわりの挨拶 (Hello. /Thank you.など) ができているか
- (2) 祭りについて話しているか

#### ・評価基準

- (1) 誤りのない英文を話すことができる
  - A.ほとんど誤りのない英文を話している
  - B.少しミスが目立つが大まかな内容が伝わる
  - C.ミスが多く、伝わりづらい
  
- (2) はじめとおわりの挨拶
  - A.はじめとわり両の挨拶の両方ができている
  - B.どちらか1つが欠けている
  - C.どちらも欠けている
  
- (3) 流暢で、かつジェスチャーなどを用いて積極的に話そうとしている
  - A.沈黙が少なく、ジェスチャーを多く使っている
  - B.ジェスチャーを使うことができているが、沈黙が目立つ  
流暢ではあるが、ジェスチャーを使えていない
  - C.ジェスチャーを使わず、かつ沈黙が目立つ

#### ・解答例

Hello,I am ….

I went to Neputa ferstival.

I saw many beautiful Neputa.

I ate okonomiyaki.

It was delicious. Thank you.

#### 問題4

指示文 あなたは来年1月から、アメリカのカリフォルニア州に留学に行く予定です。海外留学をするには、東京都にあるアメリカ大使館に行き、ビザを申請しなければなりません。ビザの申請の中に、アメリカ人との面接があります。申請に必要な書類を持ち、担任の先生もしくはALTのどちらかの元へ行き、面接を受けなさい。

<聞かれる内容>

- ・名前
- ・どこに留学するのか
- ・何を勉強するのか
- ・将来は何になるのか
- ・即興の質問1問（例：出身地、誕生日、兄弟はいるのか、将来アメリカに住みたいと思っているか）

<解答例>

教師：Next, please. Please give me your documents.

児童：Here you are.

教師：May I have your name, please?

児童：I'm ~.

教師：What country will you visit?

児童：California

教師：What do you want to study?

児童：I want to study English.

教師：What do you want to be in the future?

児童：I want to be an English teacher.

教師：Where are you from?

児童：I'm from Aomori.

教師：That's it. Thank you.

## 問題5

あなたはALTのAgnesと二期が始まってから、初めて学校の廊下で会いました。お互いの夏休みの思い出について話してみましょう。

○話すときに気を付けること

- ・ Agnesの夏休みの思い出を聞き出すこと。
- ・ 自分の夏休みの思い出を話すこと。

### 評価基準

A：自分の夏休みの思い出について、相手に伝わるように話していたり、相手の夏休みの思い出について聞いたり、反応したりしている。

B：自分の夏休みの思い出について、相手に伝えようと話していたり、相手の夏休みの思い出について聞こうとしたり、反応しようとしている。

C：Bを満たしていない。

## 問題6

あなたはまだ日本に来て間もないALTに日本の学校について教えて欲しいと頼られました。

以下の情報を含めて、英語で説明してください。

1.	新学期は4月からだということ。
2.	休みは土曜日と日曜日だということ。
3.	小学校は6年間だということ。
4.	お昼は給食を食べるということ。

### 〈評価〉

内容：一つの情報につき25点、100点満点。

正確さ：A. 文法的な間違いが無く伝えられている。

B. 文法的な間違いはあるが伝えられている。

## 問題7

テストタイプ：プレゼンテーション

- ・ALT に John 役を任せて、先に自己紹介や文化の紹介のロールプレイをしてもらう)
- ・採点は教員が行う

問題：あなたのクラスにアメリカから John が転校してきました。John は自己紹介に加えてアメリカの文化についてプレゼンしていました。あなたも自己紹介に加えて日本の文化を John にプレゼンしてみてください。Hint Box を参考にして話しても、自分が紹介したいものを話してもどちらでも構いません。

## Hint Box

### 【日本の文化の例】

- ・ 祭り    ・ 漫画/アニメ
- ・ 歌舞伎    ・ 日本食
- ・ 華道（書道・茶道） など

### 〈採点基準〉

#### 1. 課題の達成度（情報量も含む）

- ：自分の名前を含む自己紹介に加えて日本の文化を1つ以上紹介できている。
- △：自己紹介、または日本の文化の紹介の内容に欠けている部分がある。
- ×：自己紹介も日本の文化の紹介も全くできていない。

#### 2. 発音・文法

- ：発音や文法に著しい間違いが見られずスムーズに話せている。
- △：発音や文法に多少の誤りは見られるが話を続けられている。
- ×：発音や文法の間違が多く話をつなげるのが困難である。

## 問題 8

今年日本に来たばかりの ALT のニック先生は、日本の小学生がどのような夏休みを過ごすのか気になっているようです。みなさんは自分の夏休みについてスピーチをして、ニック先生に夏休みについて教えてあげましょう。スピーチには、次の 4 つのポイントを入れましょう。

〈4 つのポイント〉

1. 始めのあいさつ
2. 夏休みに行った場所
3. そこで、楽しんだこと/食べたもの/感想など
4. 終わりのあいさつ

〔解答例〕

Hi, Mr. Nick. / Hello, Mr. Nick. (ポイント①)

I went to Tokyo Disney Sea. (ポイント②)

And, I ate a big hamburger (/ curry and rice / a delicious pizza). / I enjoyed many attractions. / It was great. (ポイント③)

Thank you for listening. (ポイント④)

〔評価基準〕

	項目	評価
I	内容—以下の 3 点を含んでいる。 ・始めと終わりの挨拶 ・夏休みに行った場所 ・現地で楽しんだことや食べたもの、感想等	○ (3 つ全て含む) ・ △ (1 ~ 2 つ含む) ・ × (1 つも含んでいない)
II	文法の正確さ ○...教科書で学習した表現 (went, enjoyed, ate や It was great 等) の形や語順が正確である。 △...教科書で学習した表現の形や語順に多少の誤りはあるが、意味は理解できる。 ×...教科書で学習した表現の形や語順が全く正しくなく、意味が通じていない。	○・△・×
III	発音の正確さ ○...主に教科書で学習した表現について、正しく発音できる。 △...主に教科書で学習した表現について、多少の誤りがあっても意味は理解できる。 ×...主に教科書で学習した表現について、発音が全く異なっており意味が通じない。	○・△・×
IV	声の大きさ—ALT に発話内容が聞こえているかいないか	○ (聞こえている) ・ × (聞こえない)

○... 2 点, △... 1 点, ×... 0 点, 合計 8 点満点



## 問題9

あなたは5年1組のクラスの新聞係をしています。あなたは今月号のコラム欄で、クラスみんなが普段家でやっているお手伝いについてアンケートをとって記事を書くことになりました。これまでの調査で、5年1組では犬の散歩とゴミ出しをしているという人が多いことがわかっています。先月転入してきたクラスメイトのEmmaにもインタビューをしてみましょう。

〈聞くこと〉

- ・犬の散歩をしているか
- ・ゴミ出しをしているか
- ・上の二つ以外のお手伝いをしているか

〈気をつけること〉

- ・クリアーボイスで話すこと
- ・自分のしているお手伝いについても話すこと

## 問題 9

あなたは、SNS で仲良くなったアメリカの人の Jessica ビデオ通話をしています。Jessica に、日本の学生は夏休みに何をするのか聞かれたので、自分の夏休みの思い出を話すことにしました。友達の夏休みの思い出についても、話してみましょう。

- ・ In this summer vacation, ~から始める。
- ・ 友達は、プールで泳ぐのが楽しかった。

### 実施方法

パソコンやタブレットを使用し、ALT は別室で ZOOM 等を通じて行う。

### 解答例（かっこ内は ALT）

(What do Japanese students do during summer vacation? What did you do in your summer vacation? )

In this summer vacation, I enjoyed camping.

(Nice! Where did you do that?)

In Nagano. / I went to Nagano.

(Sounds great. How was it?)

It was exciting.

(Good. How was your friend?)

My friend enjoyed swimming in the pool.

(Cool. OK, in next summer vacation, where do you want to go?)

Hmm, I want to go to Hokkaido.

(Good!)

## 問題 10

あなたのクラスにマレーシアから転入してきた Hassan は日本に来たばかりで日本語はほとんど分かりません。その代わりに英語を話します。昼休みになったので、Hassan と一緒に遊んで仲良くなりましょう。何をして遊ぶかは Hassan と話し合っ決めてください。

話す時に気をつけること

- ・相手の方を見て聞こえる声で話す。
- ・話し合っ何をして遊ぶか決める。

〈評価基準〉 [15 点]

全体的評価→ALT 又は教師 [3 点]

※評価基準に加え、リアクションやジェスチャーを効果的に用いている児童に 1 点加点する

	2	1	0
態度	相手の方を見て、伝わる声で話している。	相手の方を見て話す、伝わる声の大きさと話すのどちらかができている。	どちらもできていない。

分析的評価→教師がその場で評価又は録画したものを教師評価 [12 点]

項目	3	2	1
応答	相手の質問を理解し、自然に答えることができる。	相手の質問を理解し、なんとか答えることができる。	相手の質問にあった答えがになっていない又は答えることができない。
質問	相手に通じる質問を話すことができる。	たどたどしくも相手になんとか質問できる。	関係のない質問をする又は質問ができない。
正確さ	ほとんどの単語やフレーズを正しい発音で話す。	単語やフレーズにいくつか間違いはあるが、伝え合うことができる。	言えない単語やフレーズが多く、十分に伝わっていない。
流暢さ	自然なやり取りができ、ほとんど沈黙がない。	やり取りの最中に数回沈黙があつたが、なんとか伝え合うことができる。	沈黙が長く、十分なやり取りになっていない。

## 問題 11

Here we go! 6 「Unit6 自分の町の紹介をしよう」を中心に

テストタイプ：生徒と ALT による対話形式

場面・状況：あなたは、アメリカから来た ALT の John 先生と一緒に班で給食を食べることになり、お互いに自己紹介をするところです。John 先生は弘前に来たばかりで、まだ弘前についてはあまり知らないで、ぜひ紹介してほしいそうです。あなたは以下の3つのタスクについて、John 先生と話してみましよう。(あらかじめ児童には弘前の有名な場所についての写真が載ったパンフレットを渡しておき、適宜参照できるようにする。)

- ①あなたの名前と趣味について自己紹介をし、John 先生の趣味について聞くこと。
- ②John 先生の趣味に合った、弘前の有名な施設などの場所について紹介すること。
- ③その場所でできることについて述べること。

評価について：試験官を ALT に委託することで、教師がその場で採点する。予め ALT には、趣味の紹介の時にランダムに弘前の各施設でできるようなこと(jogging,shopping など)を言うようにお願いする。3つのタスクについて、それぞれ教科書の表現(We have [場所] in our town./We can enjoy ~ing in [場所]など)を適切に用いて達成できていれば B、英語の正確さや流暢さに応じて A 評価をつける。たとえば流暢さがあってもタスクがこなせていなければ C とする。B 以上で合格とする。

## 問題 12

あなたは、ALT の先生に自分の住んでいる地域について紹介することになりました。ALT の先生のために、自分のふるさとについて分かりやすく発表を行いましょう。

発表を開始する前には、自分が特に分かりやすく伝えるために気を付けたことを、1 つ教えてください。その後、発表を始めてください。

### ◎評価

・ALT に対して、自分のふるさとについて紹介する。教師はその様子を見て評価する。ALT との審議を通して、総合的に評価する。

・児童が考えた、分かりやすく伝えるための工夫 1 つについても評価し、十分に工夫されていたと考えられる場合には加点対象とする。

### 〈内容〉

- A 説明を聞いて、完全に理解できる。
- B 内容が完全にはではないが、大まかには感じ取れる。
- C 内容が不十分である。

### 〈正確さ〉

- A 文法的な間違いがなく、正しい英語を使用することができている。
- B 文法的な間違いが多少見られるものの、気にならないほどである。
- C 文法的な間違いが多く、伝わらない。

### 〈工夫点〉

- A…十分に工夫されており、よく伝わる。
- B…まあまあ伝わる。
- C…工夫があまり伝わらない。

\* ・声の大きさ・資料を用いた(写真、図など)・ジェスチャー・アイコンタクト等

## 問題 12

あなたは調理実習で作ったカレーライスを、ALT の先生に食べてもらうために持っていきます。職員室に入り、以下のことについて、ALT の先生に伝えてください。

1. 何年何組の誰なのか。
2. カレーライスを持ってきたから食べてほしいということ。
3. とり肉、ジャガイモ、ニンジン、玉ねぎ、りんごを使ったカレーライスであること。
4. とり肉とりんごは青森県産であること。

### 解答例

[S]=student, [A]=ALT とします。

[S] May I come in?

[A] Yes.

[S] Hello, △△. I'm ○○ from 6th grade, class □.

[A] Hello, ○○.

[S] We cooked curry and rice. Will you eat it?

[A] Sure. Thank you very much!

[S] We used chicken, potatoes, carrots, onions, and apples.

[A] Wow! It looks delicious.

[S] The chicken and apples are from Aomori.

[A] That's wonderful. Thank you very much! I'll bring you plates later. See you later.

[S] See you.

### 問題 13

あなたの家にアメリカからの留学生 Olivia がホームステイすることになりました。Olivia は弘前のまちについて興味があります。Olivia に弘前でできることを教えてあげたり、一緒にしたいことを話したりしましょう。

【方法】生徒は場所が書かれたヒントのカード（弘前城や、映画館、回転寿司などお店の写真がついているもの）を選ぶか、即興で会話をするかを選ぶことができるようにする。

→場所が思いつかないから話せないという状況を避けるため。どちらを選んでも評価は変わらないが、即興を選んだ生徒に対しては、すごいね！というような声かけを行うようにする。

先生) I want to go out with you. Please tell me about Hirosaki.

生徒) どんな場所があるかを伝える。(We have a ○○.など)

その場所でできることを紹介する。(We can enjoy ○○. We can eat ○○.など) または、したいことを話す。(I want to go to ○○. I want to eat ○○. など)

#### 【評価基準】

##### ・ 課題の達成度

弘前にあるものについて、自分の考えを示すことができているか。

##### ・ 内容

友達が楽しめるような場所として適切か。

##### ・ 文法

完璧な文章ではなく単語レベルだとしても、会話の意味が伝わるような単語 (have や can) を利用して話しているか。

##### ・ その他

アイコンタクトやジェスチャーで伝えようとする姿勢が見られるか。